

Concerto No.53

医療法人 医徳会 真壁病院 法人広報 コンチェルト 第53号 平成16年04月発行

いきいき健康講座要旨 第27回いきいき健康講座 平成16年3月9日開催

インフルエンザとインフルエンザに似たウイルス感染症の話

国立仙台病院臨床研究部病因研究室室長 西村 秀一 先生

インフルエンザはカゼじゃない!

かぜ症候群を起こす病原体は沢山あり、ライノウイルスが30-40%、パラインフルエンザウイルス15-20%、インフルエンザウイルス5-15%、コロナウイルス10%、RSウイルス5-10%などである。インフルエンザは高熱、筋肉痛、倦怠感などの全身症状が主であり、決して普通のかぜではない。



インフルエンザウイルスと感染経路

A、B、Cの3型があるが、臨床的に問題になるのはA、Bの2型で、A型はヒト以外に鳥類、ウマ、ブタなどにも感染する。またA型にはH1~H15、N1~N9の亜型があり、ヒトに感染するのはH1~3、N1、2である。感染経路は咳やくしゃみによる飛沫感染と、飛沫の水分が抜けて空中に漂う飛沫核感染とがある。飛沫はせいぜい周囲1~2m位にしか広がらないが、飛沫核は空中を漂うために遠くまで広がり、これがインフルエンザの恐さである。

インフルエンザ感染の特徴

インフルエンザにかかる割合(罹患率)は15歳以下の小児に多く、人口10万人当たり70人にも達するが、死亡率は70歳以上の高齢者で著しく高くなる。一般にインフルエンザによる死亡率は0.1%程度で決して高くないが、罹患率が非常に高いので死者は多い(罹患率×死亡率)。抗体を有しない新型インフルエンザが発生すると、死亡率、罹患率ともに上がる為に死者が著しく増える。

インフルエンザの治療と予防ワクチン

単純型インフルエンザに対しては、発症2日以内では抗ウイルス薬と症状に合わせた対症療法による外来治療を行うが、2日以上経過した場合は対症療法だけとなる。肺炎や気管支炎を併発している場合には入院治療も考慮し、抗生物質投与を行う。予防ワクチンは決して発生を無くすものではない。



1982-1983年の場合、ワクチン接種をしなかった人での発生率が33%であるのに対して、接種者の発生率は21%とワクチン接種にもかかわらず高い発生率を示したが、非ワクチン群に比べて肺炎の発生率は半分以下であり、死亡率は4分の1であった。このようにワクチンは発生を完全に抑えるものではないが、発生しても症状を軽くし、死亡の危険性を少なくする効果がある。

パンデミック(Pan-demic)

パンデミックとは全世界の人々が被害者となる、重篤な急性呼吸器感染症の世界同時多発の流行をいう。1918-1920年のスペインかぜ(インフルエンザ)が有名で、世界中で5億人が罹患し、4000万人が死亡した。1957年のアジアかぜでは400万人が死亡し、1968年の香港かぜでは200万人が死亡した。スペインかぜでは当時98万人の人口だった宮城県で40万人が発症し、4500人が死亡した。このように新型のインフルエンザが発生すると、あっという間に全世界に広がり、多くの死亡者が発生する。

鳥インフルエンザは21世紀最初のパンデミックとなるか?

インフルエンザウイルスは本来はカモなどの水鳥の体内に普通に共存しているものであるが、これらからヒト、ニワトリ、鳥、他の哺乳類などに感染すると病原性を発する。2004年の鳥インフルエンザはA型のH5N1であり、2月末までにベトナムとタイとを合わせて43人に発生し、23人が死亡した。幸いまだヒトからヒトへの感染は報告されていないが、ヒトの体内に入ったウイルスが突然変異を起こしてヒトからヒトへの感染性を有する可能性がある。そうなると全世界に広がって21世紀最初のパンデミックになる可能性もある。

新型インフルエンザ対策には地方自治体が主体的に

インフルエンザ・パンデミックは地震と同じで、必ず起きるがいつ起きるかわからない。一旦発生すると経済活動の低下、日常生活への影響、福祉システムの危機、死者の大量発生、心理的パニック、社会治安の低下、医療体制の崩壊が予想される。医療・福祉だけでなく総力戦になるので、地方自治体は日頃からその対策を練っておかなければならない。



西村秀一先生プロフィール

1984年 3月山形大学医学部卒業
4月山形大学医学部細菌学教室助手
1989年 医学博士 (山形大学)
1994年 米国研究委員会フェローとして
米疾病予防管理センター
(CDC) 米国感染症センター

(NCID)のインフルエンザ部門へ
1996年 4月同客員研究員
12月国立予防衛生研究所(現・感染症研究所)ウイルス一部呼吸器系ウイルス室(現・ウイルス三部第一室)主任研究官
2000年 4月国立仙台病院臨床研究部病因研究室長(第二臨床検査科長、ウイルスセンター長兼務)